

質問・回答

2021年7月14日

「インドネシア国ジェネベラン川の洪水対策に係る情報収集・確認調査」

(公示日:2021年6月30日/調達管理番号:21a00377)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	見積	対象国の便宜供与の記載がございませんが、執務室と必要資機材等供与はございますか。無い場合は見積計上が可能か、計上が可能な場合は本見積への計上となるか別見積となるかをご教示ください。	便宜供与は想定していません。 必要に応じ、見積は本見積にて計上してください。
2	見積	現地渡航ができない場合の現地傭人追加に係る費用は別見積に計上。現地渡航が可能な場合の現地傭人に係る費用は本見積に計上と考えてよろしいでしょうか。	ご見解のとおりになります。
3	(2-3)河床変動解析、貯水池土砂動態解析(説明書 P20) ① 河床変動解析 ② 貯水池土砂動態解析	再委託の中で、河床材料調査が入っている事から、水理解析モデルによる河床変動解析が想定されていると思われる。この理解で良いか？	ご見解のとおりになります。
		水理解析モデルによる河床変動解析を実施する際、モデルの検証を行うための M/M が足りないと考える。どの程度の検証レベルを求めているのか？	収集されたデータにより、モデルの検証を行うことを考えており、企画競争説明書記載の工数の中に河床変動解析を含む想定になります。
4	P17 2(9)ジェネラタダムの考慮	建設中のジェネラタダムの上流部には急傾斜崩壊地が存在しています。これら土砂対策に関して本件業務内で検討事項として想定するべきと	2(9)ジェネラタダムの考慮について、企画競争説明書に記載のとおり、同ダムの完成が遅れた場合のリスクとそのリスク削減方法の検討、ま

		考えますが、必要なMMが考慮されていないと理解しております。 この点に関してご意見を伺いたく思います。	た、同ダムの治水への効果の確認を行うことと想定しており、ジェネラタダム上流部の急傾斜地対策検討は想定していません。
5	P27(2)業務従事者の構成案	③堆砂対策/土砂管理計画(3号)の格付けが示されています。対象流域の上流域はカルデラ壁の拡大崩壊のリスク、カルデラ付近の土砂生産抑制対策、中流の土砂流出抑制・調節対策の見直し等が必要となります。これらは、通常の土石流溪流と比べて規模が大きいので、相当な経験と知見を持つ者が必要と判断され、格付けは2号相当が妥当と考えておりますが、いかがでしょうか。	当方で想定している格付は、企画競争説明書のとおりです。業務内容等を考慮の上、最適だと考える業務従事者の構成(及び格付)を提案してください。
6	P20 (2-3)河床変動解析、貯水池土砂動態解析	“①河床変動解析”の記述で、流砂量観測結果を用いて河床変動解析を行うとあります。河床変動解析は、貯水池上流区間と貯水池下流河道区間と分けて行うのでしょうか。	(2-3)河床変動解析、貯水池土砂動態解析は、既存の測量データや調査内で行う流砂量観測結果を用いて、過去の変化を整理した上で、将来の河床変動・貯水池の堆砂分析を行うものです。①においてピリピリダム下流、②においてピリピリダム上流部の分析を行うことを想定しています。

以上